

内藤裕敬 演劇ワークショップ

「見えないものをみるちから」

『即興劇の極み』として、様々な劇場、多くの演出家・俳優たちにより、上演を重ねた名作「青木さん家の奥さん」。原作者内藤裕敬と演出家たちによるガチンコの舞台が2016年度に誕生し、魚沼公演で千秋楽を迎えます。

想像力を最大限にふくらませる演劇の魅力をより楽しむために、講師内藤さんと一緒に、「見えないものをみる」イメージーションの世界へ行ってみませんか？ご参加をお待ちしております。

【日時】2016年12月7日（水）19:00～20:30（予定）

【会場】魚沼市小出郷文化会館小ホール

【講師】内藤 裕敬

【対象】中学生以上で見えないものに興味のある方（演劇未経験者歓迎）

【定員】20名（先着順 ※11月30日〆切）

【参加費】無料

【お申込み方法】

①お名前 ②ご住所 ③電話番号 ④年令 ⑤学校名か職業を明記の上、メールまたはFAXにてお申込みください。

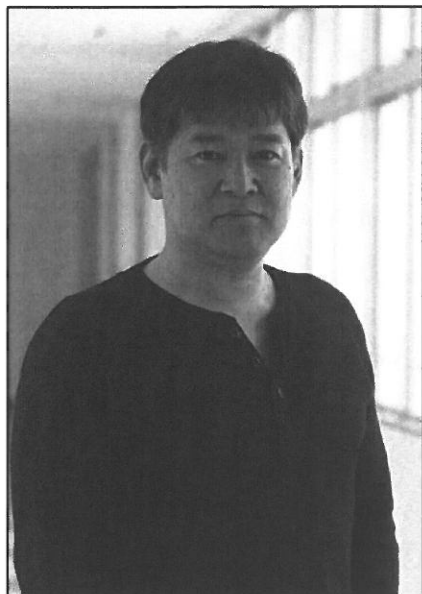
<メール宛先>uc901001@city.uonuma.niigata.jp <FAXあて先>025-792-6776

【お問合せ】魚沼市小出郷文化会館超劇担当 TEL025-792-8811

※3月11日開催の本公演に出演する地元出演者を決定する場合があります。

主催：魚沼市（魚沼市小出郷文化会館）・魚沼文化自由大楽実行委員会

助成：（一社）全国モーターボート競走施行者協議会、（一財）地域創造、公共ホール演劇ネットワーク事業



内藤 裕敬（ないとう ひろのり）

【劇作家、演出家、南河内万歳一座座長 <http://www.banzai1za.jp/>】

1959年栃木生まれ。南河内万歳一座・座長。

高校の時に状況劇場『蛇姫様』（作・演出／唐十郎）を見て芝居の道へ。

1979年、大阪芸術大学（舞台芸術学科）に入学。4年間、秋浜悟史教授（劇作家・演出家）に師事。その間、“リアリズムにおけるインチキの仕方”を追求。

1980年、南河内万歳一座を『蛇姫様』で旗揚げ。以降、全作品の作・演出を手がける。現代的演劇の基礎を土台とし、常に現代を俯瞰した作品には定評があり、兵庫県立ピッコロ劇団や世界的ピアニスト・仲道郁代との共同企画など、劇団外での作・演出も多数。

2000年読売演劇大賞・優秀演出家賞受賞。著作に『内藤裕敬処女戯曲集劇風録其之壱』『青木さん家の奥さん』がある。

公立ホールや自治体とのワークショップ事業では、滋賀県や北九州市に劇場ができるまでの環境づくりとして地域の人や地元劇団を対象にワークショップを実施したほか、高知県民文化ホールや山口県での高校演劇部を対象にした事業などさまざまな取り組みを行っている。